

# 特集

## 地域教育協議会会長と 中学校PTA会長小学校PTA会長の鼎談

地域活動の制約がある中で様々な試行錯誤が行われてきました。いくつかの手がかりもあります。変化の速い時期だったと前向きに捉えながら御三人に、地域教育協議会の過去・現在・未来を語っていただきました。

### 「地域教育協議会」って？

地域教育協議会会長 鎌倉良成  
中学校PTA会長 小川将史  
小学校PTA会長 小川将史



2000年（H12）大阪府で始まった「地域教育協議会」です。中学校区で設置され、「青少年健全育成」もありましたが、全国的に都市化や地方の過疎化のため、旧来の地域と学校の関係が保たれてきた問題を抱えて、スタートしたと思います。具体的には「教育コミュニティ」といった取り組みがあります。地域の人材あるいは職能の力を教室や放課後に教育現場に生かすという事業、つまりは、地域が学校に力を入れていくこと。また、学校の教育現場を地域に開放あるいは、住民と意見交換など、学校内での課題の共有を通して、相互の信頼と協力を育むという趣旨で発足したのです。

### ・ ことも園・小学校・中学校の体験交流について

ことも園・小学校・中学校それぞれの、体験交流が話題になりました。園児が小学1年生を訪問する。6年生が中学1年生を訪問する。一人一人にとって、一年ではあるけれど時間を授けた対面という交流は、大切な体験です。学年という水平の日常と、連続で登る垂直の成長や将来、一人一人にとって、生活に大きな意味を持つ。子どもたち一人一人の視線を地域はしっかりと見ていかないといけない。将来への意欲とした不安に勝る、漠然とした希望を持った子ども達が育って欲しい。

### ・ 小川さん、PTA活動の実践で、どんな変化がありましたか？

地域教育協議会に限らず、地域団体の認知度を上げるためには、繰り返し広報すること、中〜小規模イベントを開催することで地域住民と触れ合う機会を提供することが大事だと考える。地域住民の参加促進、特に又タワックとしての参加を希望したのであれば、拘束時間や夜 勤などを明確にして案内するなど不確実性（あいまい）を排除する。理由は、各家庭の予定などとの調整を期便にするため。連絡を求められることからフォローup しているという可能性は、主催者から連絡方法もLINEなどにより手軽になったことで可能になった。



何度か参加してもらえれば、守りから攻めに転じる方が現れると期待しています。

### ・ 長年続けてきた「南中ソニック」ですが、今後大きく方向を変えることになりました。

南中ソニックは、中学生はじめ地域団体などに発表の場を提供してきた。しかしながら、全日本育連などを専用使用することによる発表や発表の場の多様化、地域の高齢化などでイベントの規模や内容を再構築する必要があると思う。単に廃止ではなく、地域で行われている表現活動の「練習・発表・交流」の機会は無くない方向で検討してはどうか。

### ・ 中学校での野菜づくりの取り組みについて

今年、中学校での野菜づくりの取り組みを始めたことは、「日本の食文化」の体験学習になると期待できる。伝統としての農業体験も新鮮で楽しいけれど、グローバル化した世界での持続可能性に向けた「先陣の農業」について考える機会を提供していければ良い。千里新田地区には「農地が残り、耕作など農業に従事されている人もいます。連携できれば、都市農業の可能性という最新のトレンド提供の機会となるのでは。

### ・ 千新おもしろIDAYについて小川さんから

千新おもしろIDAYの成功は、開催案内での情報提供を綿密にして、イベントのアトラクションを明確にすることでより保護者間で周知が図られたと思う。お手伝いスタックとしての保護者イベントが14名あったことで、今後のイベント開催方法として持続可能なカタチではないか、その結果、身近みか「知っているイベント」となり、お手伝いスタックの誘いの輪が広がったと思う。PRミスを成功させるためには、周到な広報ができていくことが大きい。想定以上の盛り上がりで、次回も企画していただきたい。

### ・ 鎌倉さんは勤務のため地域におられる時間が限られていますが、PTA会長を引き受けたいと思います。

「地域」というののどのようであるのかについて無垢の状態で中学校PTA会長にエントリーしてしまいました。コロナ禍で活動自粛となる中、PTAの会議を中心に一年が過ぎました。今回の話について、地域役員の皆さんへの前向きな考えに、子供を育てる親としての感謝を含め、次年度の中学校PTA会長の方に引き継いでいきたいと思えます。

### ・ たのもしいPTA卒業生のみなさんへ

PTA活動に取り組む中で、メンバーの離れたメンバーが自分から発信されており、ボランティア活動として質の高いものになっていくと思う。PTA活動を卒業してもPRADOB・OGとして集まる機会をもつなど、繋がりが継続されていることに驚いている。これらPTA活動に関わることの良い点であると思う。



# 千里新田小学校

【1】たすけあい  
【2】元気いっぱい  
【3】心のゆめをこころに  
【4】心のゆめをこころに

2月初旬には複数の学級において、季節性インフルエンザによる学級閉鎖の措置をとることとなり心配しておりましたが、現状は少しずつ落ち着いているところです。3月に入り、6年生はいよいよ卒業が間近。卒業前の奉仕活動として、普段は手の届かないところの清掃活動に取り組んでくれました。また1年生は、次に入學してくる新しい1年生のために教室飾りを作ったり、学校見学に来てくれた幼稚園のお友達たちにかっこいい姿を見せたりしてくれています。桜が舞う春には、ひとつ学年が運動会し、成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

## 運動場の遊具が新しくなります！

令和3年度末から使用がなくなった運動場遊具が昨年末に全面撤去となり、遊具がなくなってしまうことが、新しい遊具が設置される運びとなりました。遊具設置の安全基準が変更され、遊具の安全領域を確保した設置場所が必要なこと、以前と同じ場所に設置することができず、運動場の遊具設置場所が変わります。



3月から、脚木（くさく）と高鉄棒は設置が完了しました。（ほかの遊具も春休み中には設置予定です。楽しみにしていてください。）



## ～ 大型絵本は、大人気！～

### 【地域子育て支援】



ことも園では未就園児親子を対象に年齢別の育児教室を開催しており、地域の方々が保育ボランティアとしてお手伝いに入ってくれたこととあります。今年度、地域教育協議会で子育て支援用として、大型絵本6冊と紙芝居10冊を購入しました。



新入園児の入園前行事では、大型絵本を見ることで、待ち時間も楽しく過ごすことができそうです。一緒に体を揺らしたり、声を入れたりして楽しんでいます。